

お客様各位

カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願ひ申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日
ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

RENESAS TECHNICAL UPDATE

〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-6-2 日本ビル
株式会社 ルネサス テクノロジ
問合せ窓口 E-mail: csc@renesas.com

製品分類	MPU&MCU	発行番号	TN-H8*-263A/JA	Rev.	第1版
題名	H8S/2168 グループ、H8S/2158 ハードウェア マニュアルの IrDA の誤記訂正		情報分類	ドキュメント訂正追加等	
適用製品	H8S/2168, H8S/2167, H8S/2166, H8S/2158	対象ロット等	関連資料	H8S/2168 グループハードウェアマニュアル RJJ09B0072-0200H Rev.2.0 H8S/2158 ハードウェアマニュアル ADJ-602-250A 第2版	
		全ロット			

拝啓

貴社益々ご清栄の段お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
題記の件、H8S/2168 グループハードウェアマニュアル、H8S/2158 ハードウェアマニュアルの IrDA の機能に関して
誤記がございましたので、訂正のご連絡を致します。詳細は、以下をご参照願います。

敬具

< 誤記訂正内容 >

1 . H8S/2168 グループハードウェアマニュアル

「14 章 シリアルコミュニケーションインタフェース (SCI)」の IrDA の位相反転機能の削除

(1) 14-22 ページ 14.3.10 シリアルインタフェースコントロールレジスタ (SCICR)

【変更前】

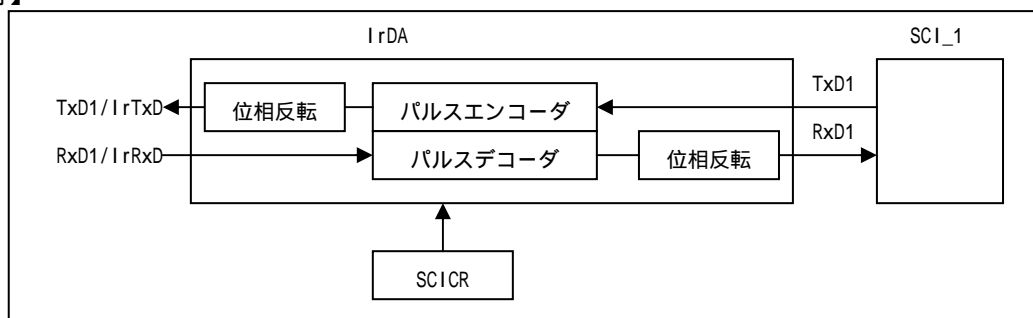
ビット	ビット名	初期値	R/W	説明
3	IrTxINV	0	R/W	IrTx データインバート IrTxD 出力のロジックレベルの反転を指定します。反転したとき ビット6~4で指定したHighパルス幅はLowパルス幅となります。 0: 送信データをそのまま IrTxD 出力 1: 送信データを反転して IrTxD 出力
2	IrRxINV	0	R/W	IrRx データインバート IrRxD 入力のロジックレベルの反転を指定します。反転したとき ビット6~4で指定したHighパルス幅はLowパルス幅となります。 0: IrRxD 入力をそのまま受信データとして使用 1: IrRxD 入力を反転して受信データとして使用

【変更後】

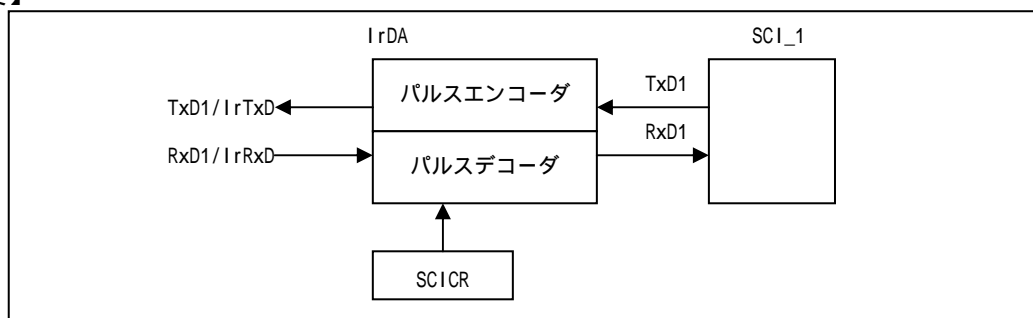
ビット	ビット名	初期値	R/W	説明
3	-	0	R/W	リザーブビット
2	-	0	R/W	初期値を変更しないでください。

(2) 14-61 ページ 「図 14.36 IrDA ブロック図」

【変更前】



【変更後】



(3) 14-62 ページ 上から 5 行目 「(1) 送信」の説明文

“また、SCICR の IrTxINV ビットにより出力波形を反転させることも可能です。”を削除

(4) 14-62 ページ 下から 6 行目 「(2) 受信」の説明文

“また、SCICR の IrRxINV ビットにより入力波形を反転させることも可能です。”を削除

(5) 24-14 ページ 下から 8 行目 「24.2 レジスタビット一覧」

【変更前】

SCICR	IrE	IrCKS2	IrCKS1	IrCKS0	IrTxINV	IrRxINV	-	-	SCI_1
-------	-----	--------	--------	--------	---------	---------	---	---	-------

【変更後】

SCICR	IrE	IrCKS2	IrCKS1	IrCKS0	-	-	-	-	SCI_1
-------	-----	--------	--------	--------	---	---	---	---	-------

2. H8S/2158 ハードウェアマニュアル

「16章 シリアルコミュニケーションインタフェース (SCI)」の IrDA の位相反転機能の削除

(2) 16-23 ページ 16.3.10 シリアルインタフェースコントロールレジスタ (SCICR)

【変更前】

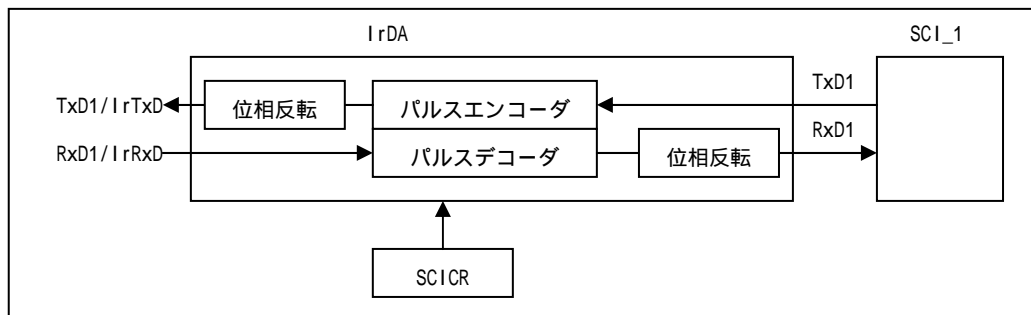
ビット	ビット名	初期値	R/W	説明
3	IrTxINV	0	R/W	IrTx データインバート IrTxD 出力のロジックレベルの反転を指定します。反転したときビット 6~4 で指定した High パルス幅は Low パルス幅となります。 0: 送信データをそのまま IrTxD 出力 1: 送信データを反転して IrTxD 出力
2	IrRxINV	0	R/W	IrRx データインバート IrRxD 入力のロジックレベルの反転を指定します。反転したときビット 6~4 で指定した High パルス幅は Low パルス幅となります。 0: IrRxD 入力をそのまま受信データとして使用 1: IrRxD 入力を反転して受信データとして使用

【変更後】

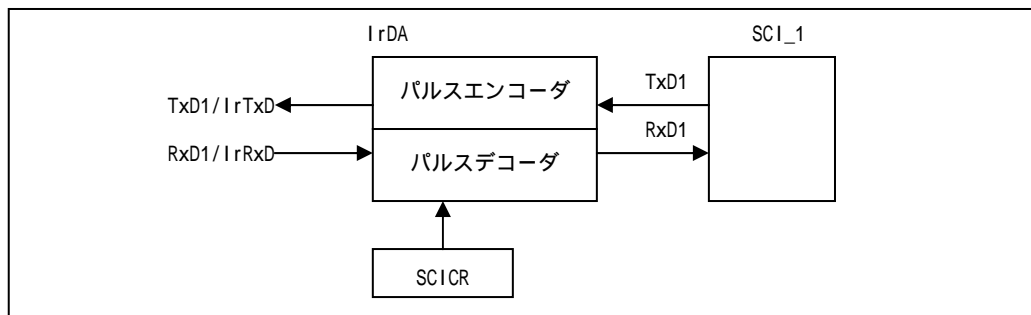
ビット	ビット名	初期値	R/W	説明
3	-	0	R/W	リザーブビット
2	-	0	R/W	初期値を変更しないでください。

(2) 16-63 ページ 「図 16.36 IrDA ブロック図」

【変更前】



【変更後】



(3) 16-64 ページ 上から 5 行目 「(1) 送信」の説明文

“また、SCICR の IrTxINV ビットにより出力波形を反転させることも可能です。” を削除

(4) 16-64 ページ 下から 6 行目 「(2) 受信」の説明文

“また、SCICR の IrRxINV ビットにより入力波形を反転させることも可能です。”を削除

(5) 28-14 ページ 下から 13 行目 「28.2 レジスタビット一覧」

【変更前】

SCICR	IrE	IrCKS2	IrCKS1	IrCKS0	IrTxINV	IrRxINV	-	-	SCI_1
-------	-----	--------	--------	--------	---------	---------	---	---	-------

【変更後】

SCICR	IrE	IrCKS2	IrCKS1	IrCKS0	-	-	-	-	SCI_1
-------	-----	--------	--------	--------	---	---	---	---	-------

以上